

## 情 報 公 開 文 書

研究の名称	ビタミンD、オメガ6系脂肪酸摂取量、血中コレステロール値、社会経済状況、ペットの飼育状況と周産期抑うつとの関連性、および、機械学習を用いた産後うつ予測（エコチル調査）
整理番号	R 2 0 1 9 0 3 5
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	学術研究部医学系・公衆衛生学講座 稲寺 秀邦
研究の概要	<p>【研究対象者】 エコチル調査参加に同意された方とお子さま 100,144 組</p> <p>【研究の目的・意義】 妊産婦の抑うつ状態に着目することは、母親の健康だけではなく子どもの健全な発育と発達につながることから意義深いと考えられます。しかし、まだ不明な点も多く残されています。そこで本研究では、ビタミンD、オメガ6系と3系脂肪酸の摂取量、血中コレステロール（その他の脂質）値、社会経済状況（教育歴、婚姻、世帯収入など）、ペットの飼育状況が、妊娠中あるいは産後の抑うつ状態の出現と関連するかどうかを調査します。また、機械学習を用いて、妊娠中の状況だけから産後うつを予測可能かどうかを検討します。これにより、妊産婦のQOL(生活の質)の維持や向上に役立てることを目的とします。</p> <p>【研究の方法】 出産前からお子さんが1歳になるまでにご回答いただいた質問票の回答に基づき解析を行います。本研究のための新たな情報収集は行いません。</p> <p>【研究期間】 研究期間：2019年7月11日～2025年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 利用する情報からは、お名前、住所など、参加者さんを直接同定できる個人情報とは削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も参加者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	<p>妊娠中及び産後のうつ症状（妊娠初期、妊娠中後期、産後1ヶ月、6ヶ月、1年）、妊娠前及び妊娠中の栄養摂取（総カロリー、きのこ類、魚介類、オメガ3、6系多価不飽和脂肪酸、ビタミンD、葉酸摂取量など）、妊娠中及び産後の血中コレステロール及びその他の脂質（総・遊離コレステロール、HDL、LDL、中性脂肪）値、酸化ストレスマーカー（8-OHdG）値、血圧、社会経済状況（教育歴、婚姻状況、世帯収入など）、ペットの飼育状況、出産時年齢、喫煙および飲酒状況、睡眠状況、出産歴、母親の既往歴、母親の体格、妊娠中体重増加、周産期の運動習慣、外に出る時間、心理的・身体的虐待、望まない妊娠、妊娠合併症、服薬歴、妊娠期間、分娩時の異常、新生児の計測（体重・身長・頭囲）、新生児の身体異常など</p> <p>（他機関への提供：無）</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 稲寺 秀邦・教授
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 稲寺 秀邦・教授
研究対象者、親族等関	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関す

係者からの相談等への 対応窓口	る相談等について下記の窓口で対応いたします。 TEL:076-434-7275      FAX:076-434-5023 E-MAIL    inadera@med.u-toyama.ac.jp 富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 稲寺 秀邦・教授
--------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------